



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日  
東

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所  
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪内 茂行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1238  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,989	△1.3	24	85.1	16	89.3	13	△47.4
2019年3月期第3四半期	4,040	2.9	13	△88.8	8	△92.6	25	△75.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △1百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 11百万円(△90.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	1.12	—
2019年3月期第3四半期	2.13	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,465	1,220	21.6
2019年3月期	5,348	1,233	22.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,178百万円 2019年3月期 1,193百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	1.00	1.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,350	△0.4	40	42.9	35	75.0	20	△55.6	1.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	12,317,000株	2019年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	549,004株	2019年3月期	549,004株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	11,767,996株	2019年3月期3Q	11,768,002株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策を背景に、全産業は緩やかな回復基調で推移しましたが、第3四半期連結会計期間以降、製造業を中心に景況判断は悪化傾向にあります。また、米國政権における政策不安や米中の貿易摩擦の長期化による中国経済の減速、不安定な欧州情勢等世界経済への影響が懸念され、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設向は、当第3四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は69.0万戸(前年同四半期比6.5%減)と特に利用関係区分での貸家(賃貸住宅)の下落幅は15.5%と大きく、また賃貸住宅の施工不良問題や消費増税の影響等により、大きく減少しました。一方、電気・輸送機器向ネジは、自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機械向のライセンス製品の需要は、引き続き堅調に推移しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,989百万円(前年同四半期4,040百万円、1.3%減)、その内訳は建設・梱包向は60百万円減(1.9%減)、電気・輸送機器向は8百万円増(1.1%増)となりました。売上総利益率は、前年同四半期の16.8%と変わらず、販売費及び一般管理費は、前年同四半期に比べ20百万円減少しました。この結果、営業利益は、24百万円(前年同四半期13百万円)となり、経常利益は、16百万円(前年同四半期8百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として、投資有価証券の一部を売却したことに伴う投資有価証券売却益6百万円を計上し、法人税等が5百万円であったことにより、13百万円(前年同四半期25百万円)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### (建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、釘を多く使用する2×4等の木造住宅系の着工戸数は前年四半期累計期間と比べ大幅に減少し、施工不良問題や台風・長雨による工事の遅れなどもあり、釘の需要は減少しました。利益面では、減収となったものの、販売費及び一般管理費や輸入商品コストの低減等により増益となりました。この結果、当セグメントの売上高は、3,137百万円(前年同四半期3,197百万円、1.9%減)となり、セグメント利益は、12百万円増の148百万円となりました。

#### (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、内需ニーズとして、品質重視の傾向のなか、自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機器向の付加価値の高いライセンス製品の需要は順調に推移しました。利益面では、外注加工費等の製造コストが増加し、減益となりました。この結果、当セグメントの売上高は、851百万円(前年同四半期842百万円、1.1%増)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ7百万円減少し、23百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ・資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,465百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比116百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ127百万円増加し、3,503百万円となりました。これは、現金及び預金が30百万円増加し、商品及び製品・仕掛品・原材料及び貯蔵品のたな卸資産が82百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ11百万円減少し、1,961百万円となりました。これは有形・無形固定資産の設備投資130百万円に対して、減価償却費が117百万円であり、投資有価証券が当第3四半期連結会計期間末の株価の下落により、31百万円減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

負債合計は、前年度末に比べ129百万円増加し、4,244百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ141百万円増加し、2,890百万円となりました。これは、短期借入金が122百万円、その他が69百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ11百万円減少し、1,353百万円となりました。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,891百万円(前年度末比112百万円増)となりました。これは、短期借入金の純増が93百万円であり、長期借入金の返済が448百万円に対して、借入が467百万円であったこと等によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、1,220百万円となり、前年度末に比べ13百万円減少しました。これは当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が13百万円であるのに対して、配当金の支払いが11百万円あり、その他有価証券評価差額金が、当第3四半期連結会計期間末の株価の下落により、前年度末に比べ16百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の22.3%から21.6%となり、1株当たり純資産は101.42円から100.12円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に発表しました2020年3月期通期連結業績予想は、2020年1月30日に修正いたしました。修正理由は、当第3四半期(累計)連結会計期間において、建設・梱包向が、賃貸住宅の施工不良問題や消費増税の影響等により、新設住宅着工戸数が大きく減少し、特に賃貸住宅については前年同四半期(累計)に比べ15%以上下回ったため、売上高は予想を下回りました。利益面でも、売上高の減少により予想を下回りました。当第4四半期連結会計期間は、電気・輸送機器向は、自動車はじめ輸送機器関連部品や産業機械向け高付加価値のライセンス品の需要は堅調に推移し、利益も当初予想どおりとなる見込みであります。一方、建設・梱包向は、主力ハウスメーカーの住宅着工の需要期からのズレ込みが見込めるものの、当初の予想は下回り、減収となる見込みであります。利益面は、機械設備の自動無人化運転や梱包機のロボット化による省人化効果が幾分見込めるものの、減益となる見込みであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	590,559	621,030
受取手形及び売掛金	1,435,760	1,438,329
電子記録債権	165,494	175,928
商品及び製品	700,907	747,863
仕掛品	222,625	241,474
原材料及び貯蔵品	238,250	255,005
前払費用	12,001	13,511
その他	15,062	10,778
貸倒引当金	△4,002	—
流動資産合計	3,376,660	3,503,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	430,870	449,524
機械装置及び運搬具（純額）	524,965	501,258
土地	733,542	733,542
その他（純額）	28,643	40,410
有形固定資産合計	1,718,021	1,724,735
無形固定資産		
ソフトウェア	53,014	47,220
その他	0	0
無形固定資産合計	53,014	47,220
投資その他の資産		
投資有価証券	89,368	57,559
長期前払費用	1,328	7,701
繰延税金資産	18,637	26,689
その他	103,795	109,147
貸倒引当金	△11,976	△11,931
投資その他の資産合計	201,154	189,166
固定資産合計	1,972,190	1,961,122
資産合計	5,348,851	5,465,044

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	667,615	632,080
電子記録債務	234,757	233,843
短期借入金	1,654,025	1,776,174
未払法人税等	5,600	7,757
未払消費税等	10,516	17,435
未払費用	51,391	46,473
賞与引当金	32,278	19,220
役員賞与引当金	5,550	—
その他	87,646	157,412
流動負債合計	2,749,381	2,890,396
固定負債		
長期借入金	1,124,890	1,115,404
繰延税金負債	3,985	2,451
役員退職慰労引当金	46,370	44,115
退職給付に係る負債	186,935	188,437
資産除去債務	3,517	3,531
固定負債合計	1,365,698	1,353,940
負債合計	4,115,079	4,244,337
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	579,881	581,304
自己株式	△49,068	△49,068
株主資本合計	1,186,211	1,187,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,339	△9,459
その他の包括利益累計額合計	7,339	△9,459
非支配株主持分	40,220	42,532
純資産合計	1,233,772	1,220,707
負債純資産合計	5,348,851	5,465,044

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	4,040,660	3,989,251
売上原価	3,361,577	3,319,063
売上総利益	679,083	670,187
販売費及び一般管理費	665,831	645,660
営業利益	13,251	24,527
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	3,865	2,058
その他	6,314	4,589
営業外収益合計	10,189	6,658
営業外費用		
支払利息	12,779	12,851
その他	1,919	1,786
営業外費用合計	14,699	14,637
経常利益	8,742	16,548
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,301
補助金収入	—	10,000
受取保険金	30,828	—
特別利益合計	30,828	16,301
特別損失		
固定資産除却損	616	2,228
固定資産圧縮損	—	10,000
災害による損失	10,539	—
特別損失合計	11,155	12,228
税金等調整前四半期純利益	28,415	20,620
法人税、住民税及び事業税	2,184	7,296
法人税等調整額	△3,087	△2,178
法人税等合計	△903	5,118
四半期純利益	29,319	15,502
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,253	2,311
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,066	13,190

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	29,319	15,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,834	△16,798
その他の包括利益合計	△17,834	△16,798
四半期包括利益	11,484	△1,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,231	△3,608
非支配株主に係る四半期包括利益	4,253	2,311

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,197,663	842,997	4,040,660	—	4,040,660
セグメント間の内部売上高 又は振替高	424	18,989	19,414	△19,414	—
計	3,198,088	861,986	4,060,074	△19,414	4,040,660
セグメント利益	136,561	30,742	167,304	△154,052	13,251

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	167,304
セグメント間取引消去	△50
全社費用(注)	△154,002
四半期連結損益計算書の営業利益	13,251

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,137,309	851,941	3,989,251	—	3,989,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76	11,723	11,799	△11,799	—
計	3,137,385	863,664	4,001,050	△11,799	3,989,251
セグメント利益	148,771	23,698	172,470	△147,942	24,527

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,470
セグメント間取引消去	△218
全社費用(注)	△147,724
四半期連結損益計算書の営業利益	24,527

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第3四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,624,106	△4.8
電気・輸送機器向	747,152	+8.2
合計	3,371,259	△2.2

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,171,567	△2.5	351,378	△5.7
電気・輸送機器向	824,857	△5.8	92,757	△40.5
合計	3,996,424	△3.2	444,136	△16.0

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,137,309	△1.9
電気・輸送機器向	851,941	+1.1
合計	3,989,251	△1.3

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	836,463	20.7	802,055	20.1

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。